

伏見町再開発ニュース

基本構想検討委員会 第2回開催 報告



日時：平成22年9月28日(火) 午後3時30分から午後5時30分

場所：福山大学社会連携研究推進センター 403号室 (福山大学宮地茂記念館)

○ 委員会の流れ

主催者の挨拶から始まり、横島委員長より第1回委員会での検討要旨が説明された。

続いて、各委員が基本的な考え方を具体化する提案を述べた。

○ 各委員の主な意見

- ・ 福山城、東桜町再開発ビル、伏見町再開発ビルの景観のバランスに留意しなければならない。
- ・ 21世紀のキーワードの一つは環境である。環境に配慮した街づくりができればと思う。



- ・ 駅前に魅力を感じるシンボルがない。箱物で賑わいを創出するのもよいが、公園など自然を利用して人が集える街づくりをしたらどうか。
- ・ 21世紀は物品の売り買いよりも交流の時代だ。交流の場、憩いの場を玄関口に創ってほしい。そうすることで都市型居住や高齢化に対応し、かつ歩いて楽しい街づくりが実現できる。
- ・ 老人の交流を図る場として、老人大学などの学ぶ場、生涯教育の場を設けてほしい。
- ・ 交流にもいろいろあって世代間の交流というものがある。高齢者向けの施設を造るのであれば、一緒に幼稚園や保育園も造ればよいと思う。
- ・ 交流に必要な触媒としてお酒がある。お酒が飲める施設は車が使えないので、駅前の伏見町は持ってこいの立地にある。



- ・ 新設の市立大学と駅を結ぶ線上に伏見町があるので、学生向けの施設もあればいいと思う。
- ・ 自然とのバランスが取れた憩いの場として、具体的には公園や水を活用した街づくりが必要である。
- ・ 都市にとって、セントラルパークといったものが必要だという意見だが、経済性も考慮しなければならない。
- ・ 広場の話が出ているが、いたずらに屋根付きや空調が完備した広場にするのではなく、季節に応じてイベントが開催できるように、オープンな広場を駅と久松通りを結ぶ動線上で計画したい。
- ・ ラゾー川崎の広場が好きで、そういったしつらえのイベントを開ける広場があればと思う。
- ・ ちょっと横に入れば洒落た店に出会うとか、そういう雰囲気のある路地がある街がよい。
- ・ 駅から伏見町の中を歩いて久松通りにつながる動線計画がほしい。駅と天満屋のあいだを人が回遊するようにしたい。
- ・ 建物間に路地的なものを入れていく手法を計画に盛り込んでもらいたい。
- ・ 路面店の灯りが煌々と輝いている街であれば、夜でも人が歩くのではないか。駐車場ビルの1階を店にして商店街の連続性を持たすようにしている例がある。



- ・ 久松通りは元々アーケード街であったが、市が基盤整備をした。2つのポケットパークと電線の地中化で、歩いていてもすっきりした通りになっている。こうした街にしたいという思いが街づくりのポイントとなる。
- ・ マンションと医療機関との連携を図る試みがされている事例がある。
- ・ 老人と子供を預ける場を融合したものができるか。
- ・ 福山は子供が遊ぶ施設が少ないので、そういったものを造ってほしい。
- ・ 他地区では高齢者向けマンションを検討したが、居住者の年齢層が片寄るので、高齢者に限定しないことになった。



- ・ 堀と入り江の遺構を残して3棟の建物を建設し、その屋上にかぶせるように人工地盤を架け渡して1フロアとし、さらにその上に重層的に街を建設する構想はどうだろうか。
- ・ サイクリング施設の拠点として伏見町を活用してほしい。
- ・ 海のもの、山のもの、加工品の直売所を設けたい。また「食の八十八ヶ所構想」のような飲食店を施設の中に取り込みたい。
- ・ IT化ということでは、ICチップを再開発ビルで活用できないか。
- ・ 福山城にまつわる物語性を探し出すか、無ければ新しく創作すればよい。
- ・ 福山市の玄関というより、他所からこの街を訪問した人をもてなす客間と考えた方がよい。
- ・ 人口の4分の1を占める高齢者のニーズにあわせたサービスの提供が必要だ。
- ・ ハードも大事だがソフトはもっと大事と多くの方がおっしゃっているが、その通りだと思う。
- ・ 街づくりに関する意見も時代によって変わる。その意味では時代が替わっても変わらないもの、時代に柔軟に対応できて、皆さんと共有できるものが必要だ。長期的視野に立ったものが求められる。
- ・ 高松丸亀町の再開発は定期借地方式である。土地評価を顕在化させない方式であり、地権者は土地を手離さなくてもよい。
- ・ 10月にお城を核としてイベントが催される。伏見町が核となってそうしたイベントが開催できる街づくりをしてほしい。



以上、第2回委員会における各委員のご意見の一部を紹介しました。

次回はこうした議論を踏まえ、ユース・コンサルタンツにゾーニング図（構想案）を準備してもらい、それを見ながら基本計画に引き継ぐ前提条件を整理する予定です。

～今後の予定～

第3回 基本構想検討委員会

日時：平成22年11月30日(火) 午後6時30分

* 正式に決まりましたらご案内いたします。

再開発について何かご不明な点などございましたら、

いつでも事務局にご相談下さい。 TEL 084-931-2208

